



COVID-19 ワクチン接種について自分自身や家族のために最善の決断を下せるように、医療情報を正しく理解することが重要です。正確な情報と、誤った情報を区別することは必ずしも容易ではありません。ワクチンに関する正確な情報は重要であり、誤情報やデマを抑止するのに役立ちます。

COVID-19 ワクチン接種を受けようと思っている際や悩んでいる友人に助言する場合は、これらの[信頼できる情報源](#)にアクセスして正確なワクチン情報を入手し、以下の事実を参考にしてください。

誤情報 #1： ワクチンの開発を急いだため、その安全性は定かではない。

事実： これらのワクチンの迅速な開発は可能であり、以下の理由でかつ安全となっています。

- SARS や MERS などの他のコロナウイルスに関する研究がすでになされていたため、有利なスタートを切ったのです。また、研究者は mRNA、ウイルスベクターワクチン、そしてサブユニットタンパクワクチンの研究も行っていました。これらは、米国で使用されている COVID-19 ワクチンの種類です。
- 政府がワクチン開発のために多くの資金とリソースを提供したことで、研究者が共同で開発を進めやすくなりました。
- 研究者は、既存のネットワークを使用して COVID-19 ワクチンの臨床試験を実施しました。多くの人々が試験への参加を強く望んでいたため、臨床試験を迅速に開始することができました。
- 食品医薬品局（FDA）と米国疾病予防管理センター（CDC）による COVID-19 ワクチンの評価と認定は、優先的に行われました。
- ワクチンの開発と製造のいくつかの過程は、段階を追ってではなく同時進行で行われたのです。その例には、臨床試験の実施中にワクチンの製造を開始したことなどが挙げられます。重要なのは、新しいワクチンの開発にあたり、安全性を守るために従うべきすべての手順は遵守されたという点です。

現在までに、米国では 6 億 1,900 万回以上の COVID-19 ワクチンが投与されています。重篤な副反応が起こる可能性はありますが、非常にまれなケースです。現在接種可能な COVID-19 ワクチンを全て受けることのメリットは、リスクを上回ります。

誤情報 #2： 長期的な影響については十分に分かっていない。

事実： ワクチンの作用機序に関する科学的見地から、COVID-19 ワクチンが長期的な副反応を引き起こす可能性は非常に低いといえます。

他のワクチンから得られる知見から、長期的な副反応が発生する場合、通常ワクチン接種を受けてから 6 週間以内に現れ始めます。このため、食品医薬品局(FDA)は、認可されたそれぞれの COVID-19 ワクチンについて、最低 8 週間、臨床試験で研究することを要請しています。また CDC は FDA によって承認及び認可された COVID-19 ワクチンがより多くの人々に使用された後も、引き続き注意深く監視しています。COVID-19 ワクチンが認可されてから 1 年以上経ちました（ワクチンの臨床試験開始からは 2 年以上が経過）。何十億もの人々が COVID-19 ワクチンの接種を受けていますが、予期せぬ長期的な副反応は確認されていません。

それとは対照的に、COVID-19 を引き起こすウイルスは、成人と子供の双方に長期的な影響を引き起こす可能性があることが分かっています。例えば、人によっては最初の COVID-19 感染後何か月もの間、[ロング・コビット](#)（コロナ後遺症）と呼ばれる、極度の疲労感、睡眠困難、頭痛、息切れなどの症状が持続する場合があります。さらに、[多系統炎症症候群](#)と呼ばれる重篤な状態が、小児（MIS-C）および成人（MIS-A）を襲う可能性があります。MIS は、心臓、肺、腎臓、脳、皮膚、目、消化器など、体のさまざまな部位が炎症を起こす、





COVID-19 に関連する、まれではありますが重篤な症状です。多くの患者は入院を必要とし、悲劇的なことに、死亡してしまうケースもあります。COVID-19 の予防接種は、このようなウイルスの「長期的な」影響に対する予防策を提供します。

詳細については、CDC のウェブページ「[COVID-19 ワクチンの安全性](#)」をご覧ください。

誤情報 #3： ワクチンには、COVID-19 に感染させ、病気になるウイルスが含まれている。

事実： 新型コロナ感染症の原因となるウイルスは、どのワクチンにも含まれていません。ワクチンによって COVID-19 に感染することは決してありません。

ワクチン接種直後に COVID-19 に感染した場合は、ワクチン接種とほぼ同時期に COVID-19 に感染したことが原因だと言えます。感染してから症状が現れるまで最大 10 日かかる場合があるので、ワクチン接種の直前に感染した場合、ワクチン接種を受けるまで症状が現れない場合があります。

ワクチン接種後 1~2 日は発熱や倦怠感などがある場合があります。これらは、体が免疫を産生していることによる正常なワクチンの副反応であり、ウイルスによって引き起こされている病気ではありません。これらの症状は長くは継続せず、数日以内になくなります。

誤情報 #4： COVID-19 ワクチンを接種した人は、COVID-19 ウイルスを撒き散らし、周囲の人々に感染させる。

事実： 米国で認可されている 4 つのワクチンには、どんな形の COVID-19 ウイルスも含まれていません。ワクチン接種を受けることによりウイルスを撒き散らすことは決してありません。

COVID-19 ワクチンによって COVID-19 の原因となるウイルスに感染することや、感染力を持つようになることは決してありません。ワクチンによるウイルスの排出は、ワクチンに弱毒化ウイルスが含まれている場合のみ発生することがあります。米国で認可されている 4 つのワクチンのいずれにも、どんな形の COVID-19 ウイルスも含まれていません。これらのワクチンからウイルスが排出されることはありません。

誤情報 #5： これらのワクチンは、ウイルスと戦うために遺伝物質を使用している。これはワクチンが私たちの遺伝子に影響を与える可能性があることを意味している。

事実： Novavax ワクチンは、COVID-19 スパイクタンパク質を含んでいます。遺伝物質や COVID-19 ウイルスは含まれていません。Pfizer、Moderna、J&J のワクチンは、あなたの体にウイルスと戦う方法を教える遺伝物質を使用していますが、この遺伝物質があなたの遺伝子に変化を加えることはありません。

COVID-19 ワクチンに含まれる DNA または RNA は、COVID-19 ウイルスに見られるスパイクタンパク質の一部を構築する方法を私たちの体の細胞に伝えます。体内の免疫システムがウイルスへの反応を構築するために、このステップは必要なものです。次に、免疫システムは抗体を産生し、COVID-19 ウイルスに晒された場合に、COVID-19 ウイルスと戦うための免疫細胞の準備を整えます。

Pfizer と Moderna のワクチンには mRNA（メッセンジャーRNA）が含まれています。mRNA は、DNA が位置する細胞核内に入ることは決してないので、私たちの DNA に変化を加えることはできません。J&J ワクチ



ンは、DNA を含むアデノウイルスワクチンです。アデノウイルスワクチンは、病気を起こしたり、複製したりできないように変化を加えたウイルスを使用しています。ワクチンには DNA を結合させる酵素（インテグラーゼと呼ばれる）が含まれていないため、ワクチンの DNA は私たちの DNA（または染色体）と結合することはできません。

誤情報 #6：ワクチンには、私の行動を追跡するために使用されるマイクロチップが含まれている。

事実：COVID-19 ワクチンには、マイクロチップや追跡装置は含まれていません。

COVID-19 ワクチンを接種するために使用される注射針は、最も小さいマイクロチップよりもはるかに細いです。このデマはソーシャルメディアで始まり、マイクロソフトの共同創設者であるビルゲイツが、マイクロチップを埋め込んで人々の行動を追跡しようとしていると主張しています。ビル&メリンダゲイツ財団は、この主張が**誤り**であると記録に残しています。インターネット上に流れる多くの誤情報のように、その誤りが訂正されても、その流布を止めることは困難です。

誤情報 #7：ワクチン接種後も、注射針が腕の中に残る。

事実：ワクチン接種後、針が腕の中に残ることはありません。注射後、注射器または安全チャンバーに針が引っ込むため、針は「消えた」ように見えるだけです。

ワクチン接種後、注射針が人の腕の中に残っているように見えるビデオを見たことがある人がいるかもしれませんが、その方が実際に見たのは、使用中の引き込み式の針です。[引き込み式の針を備えた注射器](#)は、ワクチンが接種された後、注射器の筒部分または注射器の側面にある安全チャンバーに針を引き込むことによって機能します。医療従業者たちが注射針に刺されることを避けるために、このタイプの注射器を使います。

COVID-19 ワクチンの接種に使用される針は大変細く、接種されるワクチンは微量です。注射針と接種量共に微小なため、針やワクチンが腕に入るのを感じないこともあります。ワクチン接種を受ける前に、注射器の中の透明な液体と先端の注射針を見ることができます。ワクチン接種後、注射器内に液体が残っておらず、針が筒部分（または安全チャンバー）内にあることが分かります。

誤情報 #8：「マグネットテスト」は、ワクチン接種後にマイクロチップまたは針が腕に残っていることの証拠である。

事実：それはあなたを騙すためのデマです。

ソーシャルメディア上で、ワクチン接種を受けた人々の腕に磁石がくっついている様子を示す動画が流されています。これは、ワクチンにマイクロチップが含まれていること、または腕の中に針が残っていることを証明しようとしています、単なるトリックです。

磁石はテープや軟膏で簡単に皮膚に付着させることができます。磁石やコインを肌にしっかりと押し付けると、くっつくことがあります。さらに、COVID-19 ワクチンを接種に使用される注射針には、磁石を引き付けるのに必要な金属の量は収まりません。

誤情報 #9：これらのワクチンを作った人を信用することはできない。「大手製薬会社」は金儲けが目的であり、医師に彼らの製品が安全であると言うようお金を払っている。



事実：ワクチンの開発過程は透明性が保たれていました。独立した科学者や一般の人々は、これまで以上に多くの情報やデータを見ることができます。

製薬会社が安全性よりも利益を優先してきた恐るべき事例がありますが、今回のワクチン開発は世間の注目を集めています。ワクチンの安全性と有効性（ワクチンが機能することを意味するために使用される用語）の評価は、誰でも閲覧できるように公開されています。

研究を評価する人々には、全国のさまざまな分野における医療の先駆者の方々が含まれています。この方々は、医療人種差別と激しく戦ってきた人々を含む、幅広い医療グループを代表しています。彼らは、研究の質を検証し、プロセス全体を通して公平性が保護されていることを保証するために研究に関与していますが、その労働に対する対価を受け取っていません。検証者の氏名及び勤務先のリストについては、予防接種の実施に関する諮問委員会（ACIP）の[ウェブサイト](#)をご覧ください。これらの方々については、オンライン検索でより詳細に知ることができます。また、ACIP 会議の一部をオンラインで見することもできます。

誤情報 #10：ワクチンの安全性に関する本当の証拠がないので、黒人とラテン系のコミュニティのみをワクチン接種対象として選んでいる。

事実：黒人とラテン系のコミュニティのみを対象としてはいません。しかしながら、COVID-19 の感染者数、入院者数、死亡者数の割合が高いため、このコミュニティの方々へのワクチン接種が奨励されています。

このような懸念がなされることは理解できます。過去には、有色人種は非倫理的な慣行の下、騙されたり、強制されて健康を危険に晒す薬物や医療処置の実験台とされてきました。

米国で接種可能な 4 種類のワクチンは、異なる集団で臨床試験が行われました。人口を反映する数の黒人とラテン系のボランティアを試験に含めるための努力がなされました。これは、ワクチンがこれらのグループの方々にも安全かつ効果的であることを確認するためのものです。また、これらのグループが医学的怠慢や人種差別の犠牲者になるのを防ぐためにも行われました。

医師と公衆衛生プログラムは、黒人とラテン系のコミュニティが COVID-19 ワクチンに平等にアクセスできるようにするために懸命に働いています。黒人とラテン系の居住者は、アメリカ原住民とハワイ原住民の方々とともに、COVID-19 による感染者数、入院者数、死亡者数の割合が最も高くなっています。これが、コミュニティにワクチン接種を呼びかける看板を目にしたり、広告を耳にしたりする理由です。

ロサンゼルス郡は、最も打撃を受けているこのコミュニティができるだけ早くワクチン接種を受ける機会を持つことを望んでいます。LA の黒人とラテン系の居住者の危険性は高くなっています。信頼できる情報源からのワクチンについてあなたができることを読んでください。信頼できる情報に精通した方々（医師、理科・科学の教師、薬剤師）に相談し、質問や懸念について相談してください。あなたの疑問は大切であり、知識が豊富で信頼できる専門家からの回答を得ることができます。

誤情報 #11：COVID-19 に一度感染すれば、もうワクチン接種の必要はない。



事実：医師や科学者は、既に COVID-19 に感染した人も含め、すべての人が現時点で接種可能な Covid-19 ワクチンを全て済ませるように勧めています。

自然免疫は、COVID-19 に感染後に獲得される保護です。この防御が持続せず、再び COVID-19 にかかる可能性があります。ワクチン接種を受けると（定期ブースター接種を含む）、免疫力が高まり、COVID-19 をより効果的かつ長期間にわたり予防することができます。ワクチンを接種することで、再感染のリスクを減らすことができます。再び感染したとしても、COVID-19 による重症化、入院、死亡のリスクを軽減することができます。

誤情報 #12: COVID-19 ワクチンには、中絶胎児の組織を由来とする細胞が含まれている。私は中絶を承認していない。ワクチンには胎児組織細胞が含まれているため、ワクチン接種を受けるのは間違っている。

事実：米国で認可されているワクチンには、胎児の細胞や組織は一切含まれていません。

COVID-19 ワクチンの開発、試験、または製造に使用されている胎児細胞株は、1973 年と 1985 年に行われた 2 度の中絶による細胞をもとに実験室で作られた胎児細胞株に由来しています。使用された胎児細胞はいずれも、近年の中絶、またはワクチン開発のみを目的とする中絶に由来するものではありません。

- **Pfizer と Moderna** は、COVID-19 ワクチンの開発または製造に胎児細胞株を使用していません。これら製薬会社は、人に対するワクチンの臨床試験の実施前に行った実験室での試験で胎児細胞株を使用しました。
- **Johnson & Johnson** は、胎児細胞株を使用して COVID-19 ワクチンを開発及び試験を行っています。また胎児細胞株をワクチン製造にも使用しています。
- **Novavax** は、COVID-19 ワクチンの開発および試験に胎児細胞株を使用していません。

カトリック教会は、COVID-19 ワクチンの製造を目的とした胎児細胞の使用についての検討を行いました。その結果、「研究と製造の過程で中絶された胎児由来の細胞株を使用した COVID-19 ワクチンの接種を受けることは道徳的に受け入れられる」と声明を発表しています。

この問題について懸念がある場合は、[COVID-19 ワクチンと胎児細胞株](#)をご覧ください、ワクチン接種に関する十分な情報に基づいて決断することができます。

誤情報 #13： COVID-19 ワクチンに何が含まれているのか分からない。

事実：ワクチンの成分は誰でも閲覧可能です。

米国で接種可能な 4 種類のワクチンの成分は、製造会社によって異なります。[Pfizer](#)、[Moderna](#)、[Novavax](#)、[Johnson & Johnson](#) の COVID-19 ワクチンに含まれる成分と含まれない成分について詳しく理解してください。

免疫システムを刺激するために使われる遺伝子やタンパク質は別ですが、成分はごく一般的なものです。一部の成分には科学的な化学名が付いていますが、それらを調べると、COVID-19 ワクチンに含まれる成分のほぼすべてが、多くの食品に含まれているものであることがわかります。あなたが成分のいずれかにアレルギーがない限り、これらは安全です。



米国で接種可能なワクチンには、食品タンパク質（卵やナッツ類など）、ラテックス、抗生物質その他の医薬品、防腐剤（チメロサルや水銀など）、組織（中絶胎児の細胞や動物からの材料など）は一切含まれていません。鉄、ニッケル、コバルト、リチウム、希土類合金などの金属も含まれていません。ワクチンには、マイクロエレクトロニクス、電極、カーボンナノチューブ、ナノワイヤー半導体などの製品も含まれていません。

誤情報 #14：ワクチン有害事象報告システムである VAERS によると、子供を含む何千人もの人々が COVID-19 ワクチンで死亡しているらしい。

事実：VAERS の報告のみを、ワクチンが有害事象を引き起こしたかどうかを判断するために使用することはできず、使用すべきではありません。COVID-19 ワクチン接種後の重篤な有害事象が発生する可能性はありますが、まれです。COVID-19 ワクチン接種を原因とする子供の死亡は確認されていません。それとは 対照的に、2022 年 8 月 1 日現在、COVID-19 の感染で 1,700 人以上の子どもたちが亡くなっています。

VAERS で公開されているデータで報告された死亡数について混乱がありました。VAERS から報告される死亡者数をワクチンが原因であると誤解している人々がいますがそうではありません。VAERS は、ワクチン接種後の健康上の有害事象のすべての報告を受け入れています。一般の人々を含め、誰でも [VAERS に報告](#)を提出することができます。VAERS に報告されているものの中には真のワクチン反応を示しているものもあります。その他は偶発的な健康上の有害事象であり、ワクチン接種とは関係ありません。例えば、ワクチン接種を受けてから数日後に事故で死亡した場合でも、VAERS に報告されていることがあります。VAERS では、ワクチンとは何の関係もなかったとしても、ワクチン接種直後に死亡されたため、ワクチン関連のイベントであったように見えます。また一部の報告には、不完全、不正確、偶然、検証不可能、または偽の情報が含まれている場合があります。

VAERS データの限界についての詳細は、CDC の [VAERS ウェブページ](#)にアクセスするか、ビデオ [VAERS とワクチンの安全性：その仕組み](#)をご覧ください。

ワクチンの安全性の詳細については、CDC のウェブページ [COVID-19 ワクチンの安全性](#)をご覧ください。

その他の参考情報

その他の誤情報については、以下をご覧ください。

- CDC: [COVID-19 ワクチンの誤情報と事実](#)
- フィラデルフィア小児病院: [COVIDVaccineAnswers.org](#)
- ジョンスホプキンス: [COVID-19 ワクチン: デマと事実](#)
- FactCheck.org: [COVID-19 に関する誤解](#)

デマ情報をチェックする方法については、こちらをご覧ください：[UCSF 健康情報の評価方法](#)